

令和元年度 小平第十一小学校の更新等に係る教職員アンケート及び出前授業の実施について

1 教職員アンケートの実施について

(1) アンケート内容

- ・教育活動を行うにあたって、必要な空間・機能について
- ・参考となる学校（空間・機能）について
- ・学校の建て替えと関連した授業展開の可能性、アイデアについて

(2) 実施時期

令和元年12月25日から令和2年1月8日まで

(3) 結果

- ・回収数14人／24人（58.3%）
- ・「教育活動を行うにあたって、必要な空間・機能」の要望が主立っていた。
- ・以下の順でキーワードとして多くあがった。
 - ①収納棚・・・ランドセル等を収納できる棚の設置
 - ②プール・・・天気、気温に左右されない屋内プールの整備
 - ③トイレ・・・清潔なトイレの整備
 - ④ホール、スペース・・・1学年全クラスが入れるホール等の整備
 - ⑤冷暖房設備・・・体育館に冷暖房設備の設置

(4) 結果の取り扱い

文部科学省の小学校施設整備指針や学校設置基準、公共施設マネジメントの観点等から検討し、取り入れることが可能な意見について、今後の基本計画策定、設計における参考とする。授業展開のアイデアについては、次年度以降の実施について検討・調整を行う。

2 公共施設マネジメント出前授業の実施について（5学年～6学年）

(1) 目的

児童から出た意見は基本計画や設計に直接反映するものではなく、児童にとって学校の建て替えに関わった記憶を残し、建て替えの機運を醸成することを目的とする。

(2) 授業内容

- ・十一小の建て替えについて説明。
- ・公共施設について説明、色々な種類の公共施設があることを紹介。
- ・公共施設マネジメントにおける3つの課題「公共施設の老朽化」、「人口減少・少子高齢化」、「お金（財政）のこと」について説明。
- ・地域が元気になる「理想の学校を創ろう」をテーマに、班ごとに分かれ意見交換を行い、模造紙にまとめて発表を行った。

(3) 実施日

- ・令和2年1月20日（月）1校時～3校時
6年生1組～3組（計105名）
- ・令和2年1月27日（月）2校時～4校時
5年生1組～3組（計96名）

(4) 児童からの主な意見

- ① 地域が元気になる「理想の学校を創ろう」について
 - ・学校行事を増やして地域の人と交流する。
 - ・地域の人と給食を一緒に食べる。
 - ・図書室を地域の人にも開放する。
 - ・動物の飼育を通して、地域の人と交流する。
 - ・高齢者や車椅子の人でも利用できるバリアフリーなトイレを設置する。
 - ・緑が多く、自然豊かな学校をつくる。
- ② 公共施設マネジメント出前授業について
 - ・小平市の公共施設の現状が分かった。公共施設を大切に使おうと思った。
 - ・新しくなる十一小には自分は通えないが、良い学校になってほしい。学校ができたら遊びに来たい。
 - ・新しくなった十一小を想像することが面白かった。